

NHKニュース  
おはよう日本  
NHK ニュース おはよう日本

総合 毎週月曜～金曜 午前 4 時 30 分 | 毎週土曜 午前 6 時 | 毎週日曜 午前 7 時

• シェアする



📺 これまでの放送

- [けさのクローズアップ](#)
- [おは Biz](#)
- [まちかど情報室](#)
- [おはようビタミン](#)

| [これまでの放送はこちら](#) | [特集ダイジェストまとめ](#) |

2018 年 8 月 14 日 (火)

## 『免疫療法』 がん治療への可能性



和久田

「今、がんの新たな治療法が注目されています。

これまで、がんの治療法といえば、手術・抗ガン剤・放射線、が中心でした。

ここに加わると期待されているのが『免疫療法』。

私たちの体にそもそも備わっている“免疫の力”を強めてがんを治そうというものです。」

三條

「今この免疫療法の臨床試験が、アメリカを中心とした世界各地で次々と行われてい

ます。

その可能性と課題を取材しました。」

## 免疫療法とは

ジュディ・パーキンスさん、52歳です。

5年前に乳がんと診断されました。

がんは肝臓などのさまざまな臓器に転移していて、医師からは、あと数年しか生きられないと告げられました。

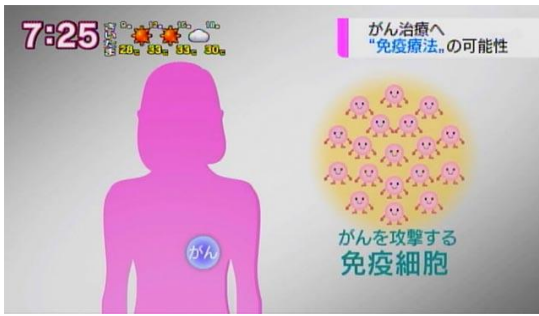
### ジュディ・パーキンスさん

「まだ47歳だったし、家族を置き去りにする心の準備はできなかった。動揺し、悲しみに暮れていました。」



抗がん剤などの治療では効果がみられなかったパーキンスさん。

最後の手段として、国立病院で行われていた最新の免疫療法の臨床試験に参加しました。



その方法です。

患者の体内から、がん細胞を攻撃しているごく少数の免疫細胞を取り出します。

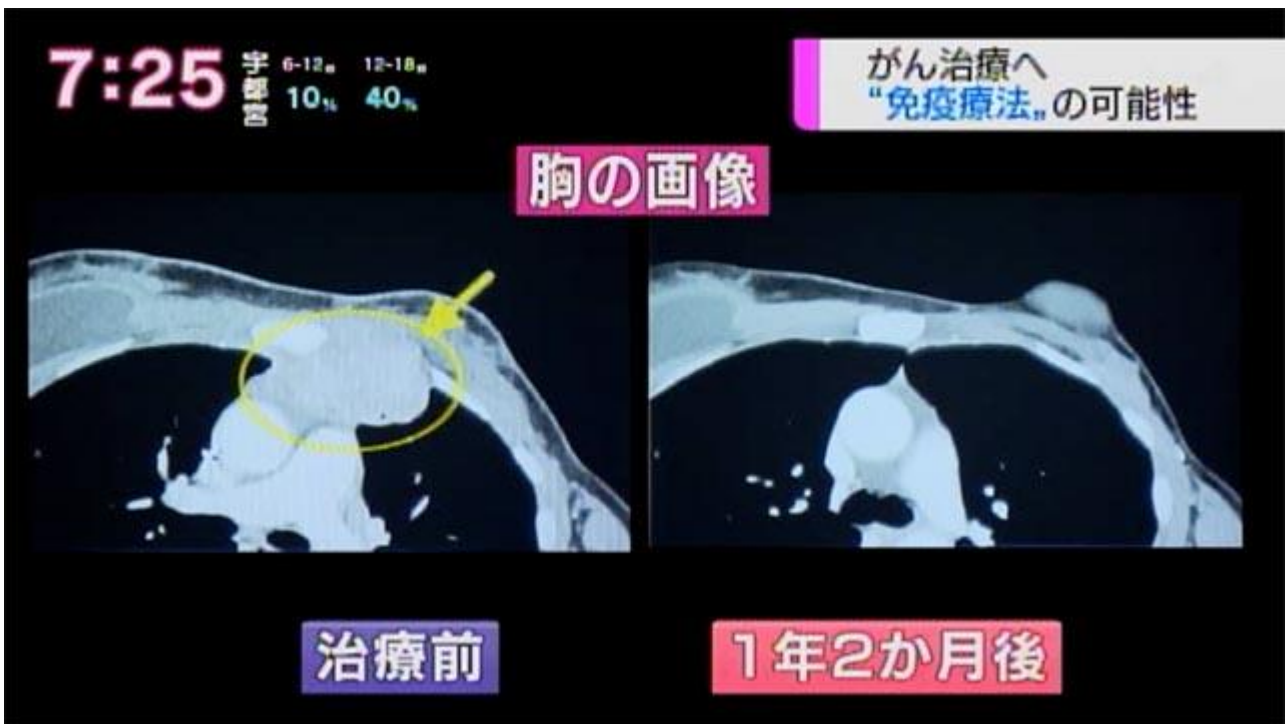
その免疫細胞を培養して増やし、再び体の中に戻してがんを治そうというものです。

パーキンスさんが、治療の前と後の検査の画像を見せてくれました。

治療前の胸の画像には、大きな腫瘍ができていました。

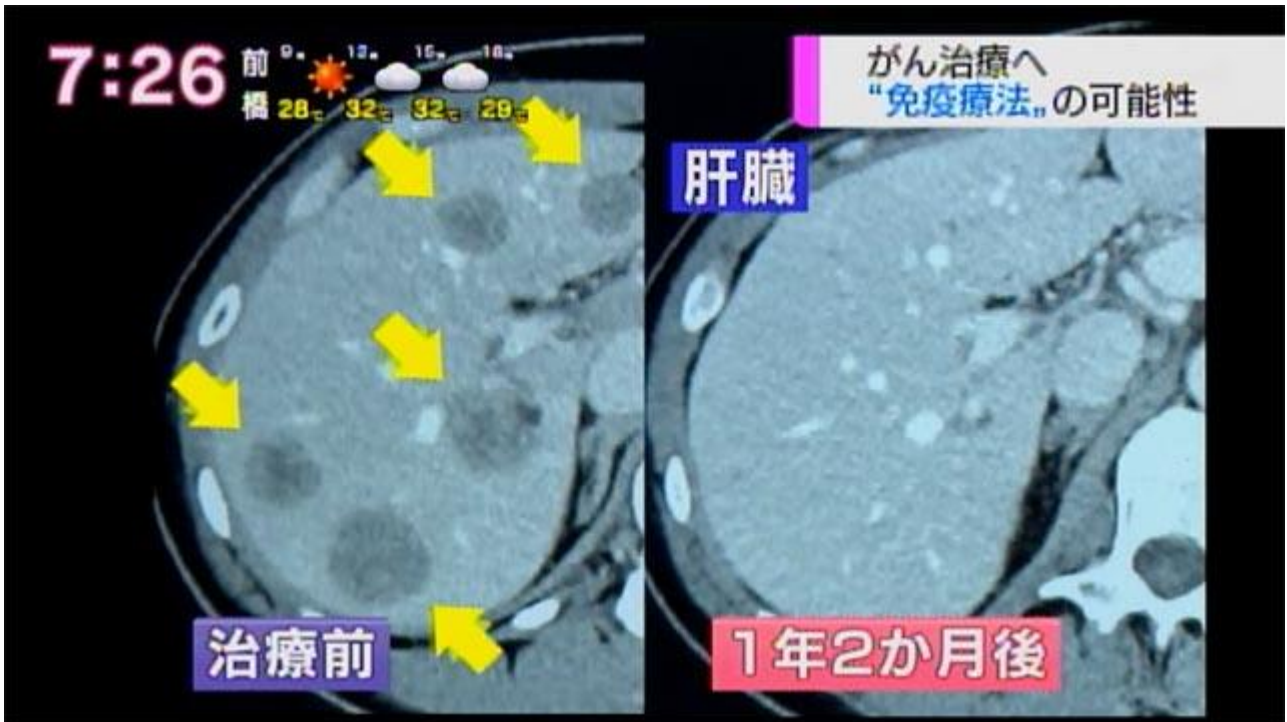
治療を開始して1年2か月後。

腫瘍はなくなりました。



治療前の肝臓にも複数の腫瘍がありました。

これも、治療後にはなくなっていました。



パーキンスさんは、今では趣味のカヤックも楽しめるようになりました。

ジュディ・パーキンスさん

「私は死ぬと思っていたのに。

そうならなかったのは、ただうれしい驚きです。」



効果は現在 15%ほど

一方で、課題もあります。

この治療法で高い効果がみられるのは、一部の患者に限られているのです。



スコット・サターフィールドさんです。

妻のジャニスさんは48歳の時乳がんと診断され、同じ免疫療法の臨床試験を受けました。

しかし、十分な効果はみられず、8か月後に亡くなりました。

ジャニスさんが臨床試験を受けた病院では、効果があった患者は現在のところ15%ほどだといいます。

スコット・サターフィールドさん

「妻はもう戻っては来ませんが（この治療が）いつか誰かの役に立つのであれば報われることでしょう。

妻もそれは分かっていました。」



遺伝子操作で攻撃力強化 課題はコスト

こうした中、より効果が高い免疫療法の研究も進められています。

ワシントン大学がんセンターなどで取り組んでいる、免疫細胞を人工的に強化した上で増やす方法です。

患者から免疫細胞を取り出し、その遺伝子を操作して攻撃力を強化します。

それを再び体内に戻してがん細胞を攻撃します。

子どもに多い一部の白血病を対象にした臨床試験では、8割の患者でがん細胞が大幅に減るなどの効果がみられたという報告もあります。



ただ、この方法にも課題はあります。

高額な治療費です。

患者1人1人の細胞で遺伝子を操作することなどに多額の費用がかかるため、1回の投与で、およそ5,000万円かかるものもあります。

**ワシントン大学がんセンター ジョン・ディパージオ副所長**

「（免疫療法は）治療の最初の選択肢になりえると思いますが、費用対効果をよくすることは解決しなくてはならない問題の一つです。

すべての人が免疫治療を受けられるような社会にしなければなりません。」



## コスト大幅減の新しい技術



コストをいかに下げるか。

この課題に挑戦しているのが日本の研究グループです。

名古屋大学などのグループは、コストを大幅に下げる可能性がある新しい技術を研究していて、世界的に注目を集めています。

免疫細胞の攻撃力を強める操作には、これまではウイルスが使われていました。

しかし、ウイルスを大量に増やす作業に高額な費用がかかっていたのです。

これに対して、名古屋大学などのグループは、ウイルスの代わりに「酵素」を使うことにしました。

「酵素」は特別な施設でなくても増やすことができるため、操作のコストは10分の1以下に下げられるとされています。

**名古屋大学 医学部 高橋義行教授**

「少しでも安く提供できれば、投与できる患者さんが増えるのではないかと。」

世界中の国の人々に投与できるといい。

そんな気持ちで開発しています。」



## 日本で免疫療法を受けられる？

三條

「取材をした科学文化部の稲垣記者とお伝えします。

免疫療法の効果には驚きましたが、日本でも受けることはできるのでしょうか？」

稲垣雄也記者（科学文化部）

「こうした細胞を使ったがんの免疫療法では、日本で承認されたものはまだありませんが、さきほどご紹介した治療法の一部が保険を適用するための審査を今行っているという段階です。」

和久田

「それにしても治療費が高額ですね。」

稲垣記者

「そうなんです。

VTRで紹介した2つの治療法はいずれも生きた細胞を使うので、どうしても高額になります。」



こうした高額な医療が相次ぐようになると、国の医療保険制度を揺るがしかねないと懸念されています。

医療経済学の専門家は次のように指摘しています。」

### 東京大学 医療経済政策学 田倉智之特任教授

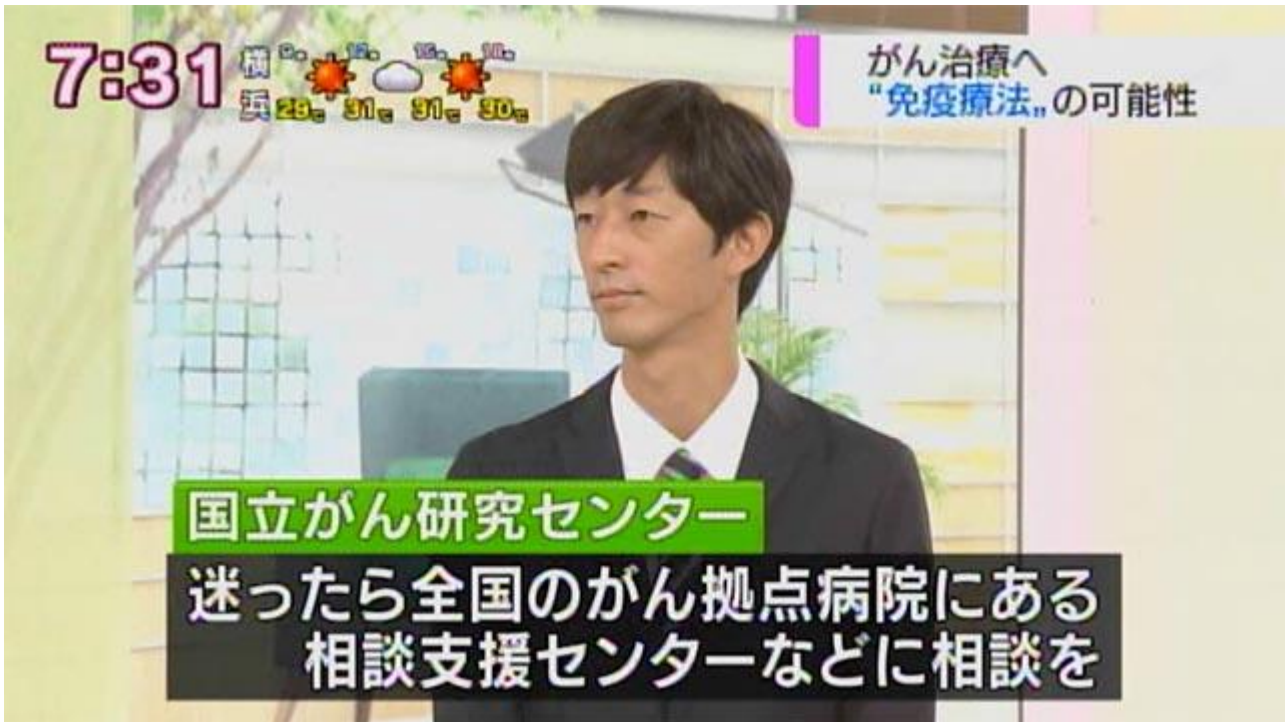
「患者もしくは患者を支える国民もいずれは患者になる可能性があるわけですから、自分の将来を見据えて今の医療システムで何が一番必要なのか、何を優先すべきか、国民一人一人がそのことについて考えることによって、医療制度が良くなっていくことが必要なのかなと思います。」



稲垣記者

「一方で国内の各地には保険が適用されない自由診療で『免疫療法』を提供している医療機関がありますが、効果が科学的に確認されていないものも多くあるとされています。

国立がん研究センターは治療法の選択に迷った場合は、全国にあるがん拠点病院に設けられた相談支援センターなどに相談するよう呼びかけています。」



NHK ニュース・報道番組

## 特集 ダイジェストまとめ

この回のタグ

- 新技術
- ゲノム編集・遺伝子
- 医療
- がん